

通信小海

「失われた人を捜して」

牧師 荒^{あらかもみ} 実^{まこと}

キリストは、羊飼いにたとえられます。羊飼いは、一匹の羊が群れから迷い出ると、その失われた羊のために危険を顧みることなく捜し続け、見つかるまで諦めません。キリストの目には、すべての人がご自分の群れから迷い出した羊として映っているのです。

ザアカイもその一人です。ザアカイは、孤独な人でした。彼が孤独であった理由は、その身分にありました。彼は、ユダヤ人の敵であったローマ帝国の手下となり、税金をユダヤ人から取り立てる取税人の頭として私腹を肥やっていたのです。イエス様がザアカイ

「今月のひとば」
「人の子は失われた人を捜して救うために来たのです。」
ルカの福音書 19章10節

の家に行くのを見た人々の反応から、彼が周りの人々にどのような思われていたかが分かります。人々は嘆きます。「あの方（キリスト）は罪人（ザアカイ）のところに行つて客となられた。」

一方、ザアカイはイエス様が他でもない自分の家へ来て下さったことへの感動と喜びで、ガラツと変えられてイエス様に約束します。「ご覧下さい。私の財産の半分を貧しい人に施します。また、誰からでもだまし取った物は、四倍にして返します。」そしてイエス様は、「今日、救いがこの家に来ました。」と宣言されたのです。
あり余るパンがあつても、孤独であるならば空しいものです。逆に、一つのパンしかなくても、そのパンを分け合う友がいるならば、そこに喜びがあります。イエス様は喜びを分かち合う

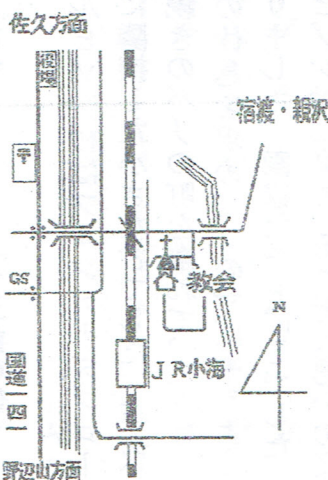
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・二一〇二 TEL 0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

*初めての方も安心してお越しください。

*個人的な聖書勉強やご相談にも遠慮なくお越しください。

※当教会は、エホバの証人とは一切関係ありません。

友となるためにあなたを捜し、あなたの心の戸を叩いて語りかけておられます。「今日は、あなたの家に泊まることにしてあるから。」

キリストの愛は、人間が考えているよりも遙か高く、広く、深いものです。人に嫌われ蔑まれるようなザアカイの、また私たち一人一人の心の中をすべて知ったうえで、丸ごと受け入れ、ご自分から歩み寄ってください、友となってくださいなのです。ザアカイと同じようにイエス様を心にお迎えするならば、喜びに溢れた新しい人生がそこから始まります。

キリストは失われた人を見つめるだけでなく、もう二度とご自身のもとから離れないように見守り続けてくださいます。ですから、安心してイエス様のもとに憩いましょう。そして、その声に耳を傾け続けてください。主イエス様は聖書を通していつもあなたに語りかけておられるのです。



連載

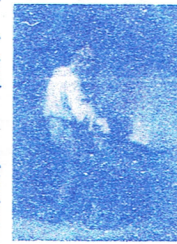
信仰の眼で読み解く絵画

第二章 ミレー

岡山 敦彦 【著】

〜農民画家としての信仰の生涯〜

⑩



ミレーの生きた時代は、フランスの政治史では激動の時代でした。ミレーは政治的な人間ではなく、ただひたすら自分の好きな絵画を描くことに専念していました。しかし、彼も時代の影響の中で生きていました。

一八四八年に二月革命が起こり、共和派が王政を倒すと、ルーブル美術館は大衆や農民を描いた絵画の展示が増やされ、サロンも無審査になりました。ミレーがサロンに出品し、その時評価されたのは農民画「箕をふるう人」でした。内務大臣買い上げとなり、政府からも注文が舞い込みました。初

めての成功が農民画であったことも神様の恵みであり、彼の今後の画家人生を決定づけたといってもよいでしょう。

一八四九年六月、政府からの絵画の代金を得たミレーは、親友テオドール・ルソーを頼って、一家でバルビゾン村に引っ越しをしました。最初は一時的な非難のつもりでしたが、いざ来てみると自分の故郷を思い起こさせてくれるこの村が大いに気に入り、この村に住みつく決心をします。ミレーが三十五歳の時でした。

バルビゾン村はフォンテーヌブローの森に隣接した小さな村でした。革命、政変続きのパリの町を離れて、人々はしばしの休息を求めてこの村に来るようになりました。画家たちも同じでした。バルビゾン村に来て、それぞれ思いのままに豊かな自然を描いた画家たちのことを、のちにバルビゾン派と呼ぶようになりました。これまでの慣習にとらわれることなく、もつと自由に明るく、光に満ちた自然を描きたいと思つた画家たちが集まってきたのです。

〈続く〉

ニチニチソウ

日日草・日々想



「永遠の希望」

「球根の中には 花が秘められ、
さなぎの中から いのちはばたく。
寒い冬の中 春はめざめる。
その日、その時を ただ神が知る。
沈黙はやがて 歌に変えられ、
深い闇の中 夜明け近づく。
過ぎ去った時が 未来を拓く。
その日、その時を ただ神が知る。
いのちの終わりは いのちの始め。
おそれは信仰に、死は復活に、
ついに変えられる 永遠の朝。
その日、その時を ただ神が知る。」
陽の光が柔らかな温かさを増し、日
毎に春の到来の兆しを感じる季節に
なると、私の心に浮かんでくる歌詞。

いつ歌つても感動が込み上げてくる大
好きな賛美歌の一つです。

春はいのちの季節。木々や草花が、確
かにいのちを備え、芽を出し花を開く時
を知っていることを目にする時、これを
造られた創造主なる神様をより身近に
感じるように思います。

教会がイースターをお祝いするのも
この季節です。月の満ち欠けの巡りによ
り、3月であつたり4月であつたりする
のですが（ちなみに今年は4月7日であ
す）、イエス様が死を打ち破つてよみが
えられ、今も生きておられることを、人
間が本能的に感じる心を神様は与えて
くださったといふ。春になると喜びが湧
き上がってくるような思いになるのは、
この季節の到来があまりに鮮やかであ
ることの中に、永遠のいのちへの希望と
いう、神様の恵みが豊かに注がれている
からだと思ふのです。

永遠のいのちなどというものは聞い
たこともないし、そんなものはない、と
いうのが多くの人の考えだと思ひます。
けれども、おとぎ話でも作り話でもなく

実在したイエス・キリストの死と復活を
証明する歴史的事実に立つ聖書という
神様のことばによつて、確信を持つこと
が出来ます。

もし、人生が死んで終わりのものであ
るなら、それこそ空しいと私は思いま
す。「人は、たとい全世界を手に入れて
も、まことのいのちを損じたら、何の得
がありません。」とイエス様が語られ
た通りです。どんなに人生が順風満帆で
あつたとしても、その先がないならどう
てしようか。逆に苦勞や涙が多くあつて
も、そのすべてが報われて、悲しみも苦
しみもない永遠のいのちを生きるもの
へと変えられる希望があれば、苦難も乗
り越えて生き抜くことができるとです。
人間の存在がこの地上で完結するよう
には造られていないのは、この永遠の希
望に向かつて生きるためなのではない
でしょうか。

いのちの輝く季節に、神様が与えて下
さる希望について、改めて思い巡らすの
でした。

暮らしの くすりばこ



《今月の処方箋》

◆口腔アレルギーに注意!◆

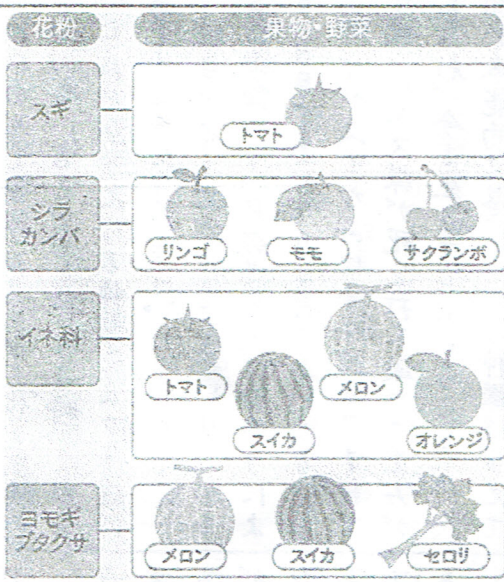
花粉症の4大症状と言えは鼻水・鼻づまり・くしゃみ・目のかゆみや充血ですが、皮膚の痒み、咳、頭痛、微熱などもあり、注意したいのが口腔アレルギー症候群です。

「口腔アレルギー症候群」とは、花粉症の原因となる植物のアレルゲンたんぱく質と似ているたんぱく質を持って、いる野菜や果物などの食べ物に対して、体の免疫機能が間違えて排除しようとして反応してしまい、口や口の周り、喉などにかゆみや腫れなどの炎症が起こる症状です。つまり、食物アレルギー、果物アレルギーと同じ体の反応です。かゆみだけでなく、血圧が急激に下がるなど、

「アナフィラキシーショック」と呼ばれる重篤な症状が起こる危険性もあるので、おかしいなと思ったら、すぐ医療機関を受診してください。

ハンノキやシラカバの花粉で症状が起こりやすいといわれていますが、それぞれの花粉に関連のある食べ物が異なりますので、花粉症をお持ちの方は、以下のリストを参考に「くすりばこ」に注意を。

《野菜や果物》



★3月のハレルヤキッズは10日(土)です。遊びに来て下さい♪

路上生活者支援

山谷(やま)農場

ありがとうございます

切手や書き損じハガキ、続々とお寄せくださり本当にありがとうございます。皆さんのご協力で、支援物資の送料もまかなわれています。お手元に使わない切手等を見つけたら、ぜひ、やま農場にお譲りください。



TEL 090・1436・6334
FAX 042・786・2088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

（物資送付先） 小海キリスト教会、または、南牧村社協へ。〒384・1302南牧村大字海ノ口966・15南牧村社会福祉協議会 山谷農場

*着払い送付は遠慮ください。
*土曜日の配達指定をお願いします。

山谷農場事務局(藤田) 小海町声谷ヒルサイドコーポ一〇二号室 毎週土曜
カンパ:〒振替〇〇二四〇・四・五三七九六